

A 基礎

練習の答えと考え方

問1

答え しんちょう

解説 注意深く物事を扱う態度を表す。

確認 読みがすべて正しければ正解。

問2

答え かつとう

解説 ここでは対立する二つの気持ちが心の中でぶつかっている。

確認 促音「っ」を含めて読みが正しければ正解。

問3

答え 根拠

解説 判断や主張のよりどころとなるもの。

確認 二字とも正しければ正解。

問4

答え 配慮

解説 相手の事情を考え、心を配ること。

確認 二字とも正しければ正解。

A 基礎

練習の答えと考え方

問5

答え 「一度も遅刻していない」と「昨日は遅刻した」という発言が食い違い、両方が同時には成り立たないこと。

解説 「一度もない」と「昨日あった」は、そのままでは両立しない。

別解・許容 昨日は遅刻したのなら、一度も遅刻していないとは言えず、二つの発言のつじつまが合わないこと。

確認 「一度も遅刻していない」と「昨日は遅刻した」の具体的な関係に触れ、両方は同時に成り立たない、またはつじつまが合わないと説明できていれば正解。意味の一般論だけでは不十分。

問6

答え しさ

解説 この文では、解決に近づく手掛かりをそれとなく示すこと。本教材では、標準的な読み「しさ」を練習する。

確認 本教材では「しさ」を正答とする。

問7

答え 簡潔

解説 短いだけでなく、すっきりして分かりやすいこと。

確認 「簡潔」の二字が正しければ正解。

問8

答え イ

解説 ここでは参加人数を確かにつかみ、理解する意味。

確認 イのみ正解。

B 標準

練習の答えと考え方

問9

答え ①抽象的 ②具体的

解説 ①は大きなくくりで示し、②は行動と時刻を明らかにしている。

確認 ①②をそれぞれ確認。

問10

答え ①主観的 ②客観的

解説 ①は話し手の感じ方。②は図面に記載された数値を示す文で、第三者も記載を確かめられる。

確認 ①②をそれぞれ確認。②は測定の正確さまで無条件に保証するという意味ではない。

問11

答え ウ

解説 限られた場所の出来事を通して、多くの人に共通する問題を扱っている。

確認 ウのみ正解。

問12

答え はっきりした答えがない中で、試しながらよい組合せを探り求めたこと。

解説 単に決まった方法を繰り返すのではなく、まだ分からない方法を探す場面。

確認 方法が未確定であることと、試しながら探し求めることの両方を確認。

B 標準

練習の答えと考え方

問13

答え 要点を外さず、短くはっきりと伝えること。

解説 この文では、結論の要点を的確に示すことを求めている。

確認 15～30字で、要点を的確に示すことと、短くはっきり伝えることが説明されていれば正解。句読点も一字と数える。

問14

答え ア

解説 条件をそろえて日光の量を変え、その結果で考えが確かか調べる。

確認 アのみ正解。

問15

答え ①促進 ②抑制

解説 進むように働きかけるか、行き過ぎなどをおさえるかという向きの違い。

確認 ①②をそれぞれ確認。

問16

答え イ

解説 「享受」は恩恵やよい条件などを受け取り、自分のものとして味わうこと。

確認 イのみ正解。

C 応用

練習の答えと考え方

問17

答え 謙虚。自分を誇らず、仲間の働きを認めて助言を素直に受け入れているから。

解説 控えめで素直な態度を、行動から読み取る。

確認 「謙虚」と、誇らない態度・助言を素直に聞く態度の少なくとも一つを根拠として示していれば正解。

問18

答え ①しなやかで曲げやすいこと。②状況に応じ、考え方や対応を適切に変えられること。

解説 同じ語が、物の性質と人の対応の両方に使われている。

確認 ①は物のしなやかさ、②は状況に合わせて変えられる性質を説明できていれば正解。

問19

答え 克服。人前で話すことへの苦手意識を乗り越えた。

解説 困難や弱点に打ち勝つこと。ここでは発表への苦手意識が対象。

確認 「克服」の表記と、人前で話すことへの苦手意識という対象の両方を確認。

問20

答え この文では感情的に悪口を言うのではなく、根拠に基づいて作品の問題点を指摘し、価値を検討しているから。

解説 批判は、根拠をもって物事を評価・検討する働きももつ。

確認 根拠に基づいて問題点や価値を検討することと、単なる悪口とは異なることを説明できていれば正解。

C 応用

練習の答えと考え方

問21

答え 例：私は二人の言い争いに関わらず、ただ傍観していた。

解説 傍観は、その出来事に直接関わらず、そばで見ていること。

確認 「傍観」を正しく使い、争いに関与せず見ている行動が伝わる一文なら正解。

問22

答え 調べた相手が少なく同じ部活動に偏っているため、その意見だけで全校生徒の希望を判断するのは適切ではないから。

解説 妥当とは事情や筋道にかなっていて適切なこと。結論の範囲が根拠を超えている。

確認 調査相手の少なさ・偏りの少なくとも一方と、全校生徒へ広げて判断できないことを示せば正解。

問23

答え 例：地域の踊りを継承しながら、その動きを生かして新しい演目を創造する。

解説 継承は受け継ぐこと。創造は新たなものを生み出すこと。

確認 「継承」「創造」の正しい表記と意味、両方の内容を保った自然な一文を確認。

問24

答え 危惧。今後、悪い事態になるのではないかと心配しているから。

解説 まだ起きていない好ましくない事態を心配する気持ちを表す。

確認 「危惧」と、悪い事態が起こるおそれを心配する意味の両方を確認。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問25〔10点〕

答え けんちょ

解説 他と比べて際立ち、はっきり目立つさま。

採点 読みが正しければ10点。部分点なし。

問26〔10点〕

答え 暫定

解説 正式に確定する前に、仮に決めておくこと。

採点 二字とも正しければ10点。部分点なし。

問27〔10点〕

答え 定められた手順に従い、それを守ること。

解説 「じゅんしゅ」と読む。「順守」とも書く。

別解・許容 定められたやり方をきちんと守ること。

採点 手順に従い守るという意味が書けていれば10点。「覚える」だけでは0点。

問28〔10点〕

答え エ

解説 不都合や不適切な点を、正しい状態へ改めること。

採点 エのみ10点。

D 確認

確認テスト100点 採点基準付き

問29〔15点〕

答え 自説の誤りを示す新しい資料があっても、自分の考えを変えず、主張し続ける態度。

解説 考えなどに強くこだわり、変えようとししないこと。「こしつ」「こしゅう」と読む。

採点 新しい資料が自説の誤りを示すことに5点、それでも考えを変えないことに5点、主張・こだわりを続ける態度に5点。計15点。

問30〔15点〕

答え 阻害。通路に積まれた箱が、人の移動の妨げになっている。

解説 阻害は物事の進行などを妨げること。本教材では、常用漢字による表記「阻害」を練習する。

採点 「阻害」の表記に5点、積まれた箱を原因として示すことに5点、人の移動を妨げると説明することに5点。計15点。

問31〔15点〕

答え 例：私は三日間の展示という主張を改め、相手の負担を考えて二日間に譲歩した。

解説 自分の主張を一部または全部改め、相手の意見を受け入れること。

採点 「譲歩」の正しい表記と用法に5点、三日間から二日間へ自分の主張を変える内容に5点、相手の希望・負担を考慮した内容に5点。計15点。

問32〔15点〕

答え 例：避難口の前の荷物は緊急時の避難を妨げるため、看過できない。

解説 この文の「看過」は問題を見過ごすこと。「できない」と組み合わせ、見逃せないと表す。

採点 「看過できない」の正しい表記・用法に5点、避難口の前の荷物を問題として示すことに5点、避難を妨げるという理由に5点。計15点。